

関西女性活躍推進フォーラム 大阪・関西万博に向けた研究 企業アンケートについて

1. テーマ

関西におけるより良い女性活躍の推進を目指して～関西の潜在力の再発見～

2. 目的

女性の流出が続く関西で、「住んで、学んで、働き続けたい関西」づくりのための処方箋を、マクロとミクロの視点から描く。

- (1) 女性の力がどの程度活かされているかの現状を把握するとともに、さらに女性の活躍を推進することによる関西の成長を推計し、改めて関西での女性の潜在力を評価する。
- (2) 女性の力を活かすべく、様々な育児休業制度や短縮勤務制度をはじめとしたさまざまな雇用制度の導入が企業でなされているが、それが実際に社員の満足度や就業意欲の向上、さらに企業の成果に結び付くには、どのような工夫や働きかけが必要かを見極め、女性のみならず多くの社員が働き続けたいという企業づくりへのヒントを探る。

3. 研究アプローチ

企業及び企業に所属する従業員の双方を対象に調査を実施し、企業の女性活躍推進の取組が従業員のエンゲージメントや女性活躍に対し与える影響について明らかにする。

4. 調査概要

- (1) 実施期間
令和6年7月～8月（予定）
- (2) 対象企業
ア 関西広域連合（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県）圏内に本社を設置している企業
イ 圏内に本社はないものの、事業所を設置している企業
- (3) 内容及び対象
ア 各企業が実施している女性活躍推進のための取組に関する調査
人事担当部署1名
イ 制度に対する知覚、働き方、エンゲージメント等に関する調査
①常用労働者数1,000名未満の企業 従業員（常用労働者のうち正社員等）10名
②常用労働者数1,000名以上の企業 従業員（常用労働者のうち正社員等）30名
- (4) 方法
Googleフォーム等による回答
- (5) 留意事項
調査対象者は、①年齢（20代～50代）、②性別、③所属部署について、なるべく全体を網羅するとともに、役職者も対象としていただくと幸いです。
- (6) 調査結果（企業へのフィードバック）
ご希望のあった企業様には、全体の平均と当該社の比較データをお渡しする方向で調整中。

5. 成果公表方法

- (1) 関西の女性就労数の現状と、潜在的な労働力の可能性やそこから生み出される成長力を明らかにするとともに、より良い女性活躍への方途を示し、関西全域でPRする。
- (2) 大阪・関西万博関西パビリオンや関西女性活躍推進フォーラムにおいて成果を発表する。
- (3) APIR 関連出版物で公表する。
- (4) 研究会の研究者が成果を論文としてまとめて発表することを奨励する。

(参考) 関西女性活躍推進フォーラム
大阪・関西万博に向けた研究企業アンケート説明資料

1. 調査対象者の例

常用労働者数 1,000 名以下の場合

※あくまで一例であり、可能な範囲でご協力いただけると幸いです。

	年齢	性別	所属部署
1 人目	20 代	男性	企画部門
2 人目	20 代	女性	開発部門
3 人目	30 代	男性	営業部門
4 人目	30 代	女性	広報部門
5 人目	30 代	男性	経理部門
6 人目	30 代	女性	総務部門
7 人目	40 代	男性	監査部門
8 人目	40 代	女性	企画部門
9 人目	50 代	男性	開発部門
10 人目	50 代	女性	営業部門

2. 本調査における労働者の区分・定義について

労働者の区分		定義
常用労働者	正社員等	常用労働者のうち、雇用期間を定めずに雇用されている者又は 1 年以上の期間の雇用契約を結んで雇用されている者をいいます。なお、下記のパートタイムは除いてください。
	臨時	1 か月以上 1 年未満の期間を定めて雇用されている者及び期間を限って季節的に働いている者をいいます。なお、下記のパートタイムは除いてください。
	パートタイム	1 日の所定労働時間又は 1 週間の所定労働日数が貴事業所の正社員のそれより短い者をいいます。
派遣労働者		労働者派遣法に基づいて派遣事業所から貴事業所に派遣されている者をいいます。

(労働経済動向調査(厚生労働省)の定義に基づく)